



## NPO PTPL “ともいき” 便り No.50

平成 26 年（2014 年）4 月 20 日発行

### ■ 穀雨（こくう） 4 月 20 日から 5 月 4 日までの節気

「穀雨」の節気に入りました。穀雨は「雨が降って百穀を潤す」という意味です。この時期には春雨が降り、田畑を潤して作物の生長を助けます。春分から数えて八十八日目は、♪夏も近づく八十八夜～と歌われるように茶摘みもスタート。木々の緑がだんだん濃くなっていくころです。

前号（清明 No49）にて、NPO PTPL 勝田理事長の「ともいき・ともうみ雑感彼是」で“桜は日本人の心”というメッセージをお伝えしました。

この号が届く頃には、東北地方の人々が待ちに待った花見で盛り上がっているか、はたまた、北海道まで北上しているかもしれません。

### ● 「日本人と桜」について。

桜前線の北上は、多くの人に日本人に春の到来を告げ、北上に従って各地の花見の名所では多くの人々が花見に興じ賑わっています。

一方、違う視点で桜を見ると違った桜への日本人ならではの思いが伝わってきます。

農業における基本木としての桜、神事としての桜、校庭などのシンボルとしての桜などなど、それぞれの桜への思いがあることでしょう。あなたにとって自分の桜の木というものはあるのでしょうか？ 私もすぐ近所にありましたが、その桜は昨年、家屋の建て替えで切られてしまいました。例年、部屋の窓からつばみから三分咲き、五分咲き、満開、葉桜、そして若葉に覆われるまでの約 10 日から 2 週間楽しんでいたのですが、とても残念です。

NPO PTPL の活動の一つに「HAND IN HAND」があり、「あったらいいな、あんな木、こんな木」というメニューがあります。これは身近なところで自分の木を

決め、絶えず観察していきましょうという子どもたちへの自然を身近に感じるメッセージプログラムです。

<http://www.plantatree.gr.jp/handinhand/book/>

心ウキウキ、ドキドキする春をより深く感じるため、「自分の桜の木」を探してみませんか？ また違った桜への思いが生まれるかもしれませんね。

#### ● 日本人の自然に対する感覚を持つアメリカ人女性。

ある休日の午後、NHKのアーカイブ番組の再放送を見る機会があり、印象に残ったのでご紹介します。その番組はみなさんもお存知だと思いますが、アメリカの生物学者レイチェル・カーソン（1907～1964）とその著書「沈黙の春」についてです。

彼女は自然に対して畏怖・畏敬の念を持ち、生き物すべてが平等であるという、日本人が古より大切にしてきた考えの持ち主です。彼女の著書「沈黙の春」では農薬、特にDDTなどの農薬散布が連鎖によって人間に与える影響を告発しました。当然ながら、業界からは大反発を受けましたが、当時のケネディ大統領を動かし、1963年、DDTの使用は以降全面的に禁止され、環境保護を支持する大きな運動へと広がりました。

彼女の行動は、日頃、自然と接し、小鳥のさえずりや季節ごとに咲く木々や花に囲まれた日常生活を送っていたからこそ、化学物質による生き物や環境破壊への悪影響を直感したのでしょう。

NPO PTPLが提唱する“人と人、人と自然のコミュニケーション”の大切さが伺えるお話です。

最後に、彼女は原爆投下にも関心を寄せたそうですが、それについての記録はありません。日本人としては彼女の言葉が聞けなくて残念です。

文：佐藤 誠（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局）

#### ■ ともいき・ともうみ雑感彼是

桜の花が散って、葉桜になる頃、若葉に覆われたクスノキの樹冠が日差しを浴びて金色に輝き始めます。（赤い若葉と青い若葉があり、赤いものが多ければ全体として赤っぽく感じられ、ことに目に付きます。）

とても素敵な光景です。皆さんはこの時季のクスノキをゆっくりと眺めたこ

とがありますか？

クスノキは常緑広葉樹で、紅葉することなく、やや黄ばんだ緑のままで秋から冬を過ごし、春の一週間ぐらいの間に、前年開いた葉をほとんど落とし、新旧交代します。

クスノキの新芽が出て金色に輝いた後、前年開いた葉を落とすのです。(季語ではこれを常磐木落葉・トキワギオチバといいます。)

クスノキの仲間の枝葉に含まれる芳香性の精油成分は私たちにとっても親しく、葉をちぎって広がるその香りから、その植物がクスノキの類であることがわかります。(ゲッケイジュも同じ類です。なおクスノキの枝葉から樟脳を採取します。子どものころ、母が箆笥を開けると樟脳の匂いがしたのがしきりと思い出されます。きっと多くの人が持っている懐かしい記憶でしょう)

クスノキは日本産の樹木の中では最大級で、各地にたくさんの老木、巨樹、巨木があります。

- クスノキについて辞典や辞書を調べていると、とても面白い言葉を見つけました。それは「くすのき学問」という言葉です。  
クスノキは生長は遅いが着実に大木になるところから「進歩は遅くても、着実に成長していく学問ないし学問を大成させた人」を指すそうです。
- 「うめのき学問」という言葉もあります。どういう学問ないし人のことでしょうか。想像してみてください。
- “人と人、人と自然の「ともいき」から生まれた言葉の国、日本。” ですね。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

● 発行 50 回目

皆さまのおかげをもちまして、この号が発行 50 回目という節目となりました。

少しずつではありますが、皆さまからのご意見、ご感想も届いておりますが、紙幅の関係でご紹介できないのが残念です。事務局では、折りに触れてご詳記していきたいと考えています。

● 事務所の風景

事務所は本来貸ビルのつくりになっておりますが、当 NPO 事務所は机や書庫、ソファなど木製のものを多く配置し、なおかつ、勝田理事長が自宅で育てているハーブなどの鉢物や折に触れた季節の切花などを竹筒やおしゃれなガラス瓶に活けて、来訪者の方が少しでもくつろいでいただけるような空間づくりをしています。

皆さま、ぜひ、お近くにお越しの際はお立ち寄りください。そして、当 NPO 活動に関するご意見、ご感想など気軽のお話できればと思っております。

● Facebook「ともいきぐらし (<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>)」  
並びに「おらが富士計画 <https://www.facebook.com/oragafuji>」をご覧ください。そしてご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

● ジャパネスクサイトもご覧いただき、そしてご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル 7 階  
電話：03-6205-7503  
FAX：03-6205-7504  
Email：[info@plantatree.gr.jp](mailto:info@plantatree.gr.jp)